

トイレトレーニングについて

「トイレトレーニングってどう進めていったらいいの？」は
育児の悩みの定番！

トレーニングを始める準備ができているか確認してみましょう

お子さんが上手に歩けるようになり、言葉もいくらかしゃべることができるようになるということは、大脳皮質がある程度発達し、尿意を感じるができる準備に入ったサイン！尿意を伝えようとする表情がみられるようになったら、周りの大人が気づいてあげると良いですね。

お子さんのおしっこの間隔が2時間位空いてきたら、
トイレやおまるに誘ってみましょう。



誘導して偶然おしっこが出たら「おしっこ出たね！」と声かけ。
できたことをお子さんと一緒に確認し、ほめてあげるといいですね。

☆おしっこが出る感覚
☆出たおしっこを見て確認する感覚
☆「おしっこ出たね！」という声かけを聞く感覚を
大切にしてくださいね！



最初のうちはおしっこをした後に教えることが多いものですが、
やがて、する前に教えてくれるようになっていきます。
個人差も大きく、できた！と思ったら何かの拍子で後戻り…
ということもよくあります。**焦らず・怒らず・気長に**進めていきましょう。
周囲の大人が喜び、認めてくれることで、お子さん自身も「できた!!」
という達成感を味わうことになり、その後が今後のお子さんの心身の発達にも
良い影響を与えることになると考えられています。

ご相談のある方はお電話ください。

港北区福祉保健センター こども家庭支援課
こども家庭相談 540-2388

